

日本映画の振興と教育・福祉事業を支援し

一つ一つの積み重ねを大切にして45年

山路ふみ子 文化財団の歩み

令和2年度～令和3年度

公益財団法人 山路ふみ子文化財団

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染脅威の中で



岩崎 光洋
(理事長)

まさに百年に一度の新型コロナウイルス感染の脅威に、多くの人たちが心身ともに疲労困憊し、世界経済の先が見えない不安と焦りを感じておられることと存じます。

現時点では、まことに残念ながらこの得体のしれない新型のウイルスを制圧できるワクチンはなく、一人ひとりの忍耐と精神力で、感染拡大を食い止める以外に道はありません。

所轄の内閣府より三密を避けるようにとの指導に基づき、当財団も創設以来初めて理事会、評議員会をすべて書面審議という異例の対応を取らざるをえませんでした。また、皆様からの御要望により二月八日に実施した『山路

ふみ子出演映画特別上映会』の開催に際しては、受付に消毒液を置き、適正なソーシャルディスタンスを確保し、さらにはご来場者に体調の変化があれば迅速に連絡が取れるように、緊急連絡先を記載していただくなどの感染防止対策を行い、実施させていただきました。

このたびの「第四十四回映画賞贈呈式」の開催につきましても、財団役員は無論のこと、各方面から問い合わせがありました。八月にこの映画賞の選考を依頼しています選考委員の先生方にもお集まりをいただいて「映画賞選考に伴う期中情報交換会」を開催し、開催の有無、開催方法、最終判断のタイミング等についても議論させていただきました。

その結果、「第四十四回映画賞贈呈式」はご来場の皆様の安全・安心を第一に考え、中止せざるを得ないとの判断に至りました。これまで一度も途切れることなく続けてまいりました贈呈式のことを考えますと誠に残念な思いです。何卒、今回のこのような苦渋の決断を

ご理解くださいますようお願い申し上げます。

令和二年度「第四十四回山路ふみ子映画賞贈呈式」の中止について

令和二年十一月二十七日(金)、東京・日本教育会館一ツ橋ホールにおいて開催予定の『第四十四回山路ふみ子映画賞贈呈式』は、新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない状況を鑑み、大変残念ながら「中止」とさせていただきます。

当日ご来場くださる受賞者・ご招待者および関係者の健康・安全を第一に配慮した結果であり、また本映画賞は贈呈式とセットで執行進めておりますことから、各賞の選考も含めて「中止」とさせていただきます。

この事業にご支援いただき、楽しみにされておりました皆様には申し訳ございませんが、何卒ご理解のほどをお願い申し上げます。

なお、中止とさせていただきます令和二年の『第四十四回贈呈式』は、そのまま回数を次年度に引き継ぎ、あらためて令和三年十一月二十六日(金)に開催させていただきます予定としております。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ここに本年度の「開催中止」のご報告とさせていただきます。

令和二年十月一日

公益財団法人山路ふみ子文化財団

財団役員一覧

理事長 岩崎 光洋

常務理事 佐藤 善志

理事 岩崎 光洋
佐藤 善志
永田 稔

澤田 隆治
赤坂 由美
坂本 敦子
中野 薫樹

監事 杉野 浩之
坂田 英夫
鈴木 伸東

評議員 橋本 寿史
篠澤 礼子
田村 やよひ
小松 浩子
服部 朋秋
村上 俊夫
藤間 弥生

歴史ある「日本教育会館一ツ橋ホール」を会場にして



佐藤 善志
(常務理事)

○受賞者に対して、「控室」までの誘導連携が悪い。

○一番乗りで来場したが、どこにどのようにならばよいのか分からなかった。

○「トイレ」表示が少なく、場所が分からにくいので、スタッフが要所に立つて誘導してほしかった。

○贈呈式会場フロア以外のトイレも使用できるようにしてほしい。

○「休憩時間」をもう少し多めにとつてほしい。トイレから戻ると「受賞作品映画」の上映が始まっていた。

○終了時のエレベータ混雑を考え、退出扉の開放を制限したほうがよい。
等々

「山路ふみ子映画賞贈呈式」は東京・新橋の「ヤクルトホール」を長年使用させていただいていたいました。同ホールが改修計画に入るとのこと、令和元年十一月二十九日(金)の「第四十三回映画賞贈呈式」では、東京・神田の「日本教育会館一ツ橋ホール」に会場を変更。

会場側とは諸導線の確認も含め三度の打ち合わせを行い、関係者に配布する「スタッフ・マニュアル」も更に細点を列記して本番に臨みました。

顧みて、いざ蓋を開けてみると、あらこちらでスタッフ間の連携に戸惑い、受賞者をはじめご来場の皆様に数々のご迷惑をおかけしてしまう結果となっていました。

ご来場者から頂戴したご提案等を改めて列記してみますと、

ご存知のとおり、この「映画賞贈呈式」は、他の市井の企業協賛のイベントと異なり、企画から進行まで、すべて財団スタッフとボランティアで協力してくれる学生諸君らの「手作り」による運営にこだわりの、今日に至っております。

皆様から頂戴したどんな些細なご提案も、一つひとつスタッフ会議で議論し、更に会場側との現場下見時の打ち合わせでも再確認して参りました。

令和二年の贈呈式は残念ながら中止

となりましたが、次回ご来場くださった皆様からは『今年は快適でしたよ』とのお声を頂戴できるよう、スタッフ一同一丸となつて取り組む所存でおります。なお令和三年の映画賞贈呈式の詳細は決まり次第、幣財団ホームページで発表いたします。

皆様には、何卒ご理解くださいますよう、併せて更なるご指導ご鞭撻をお願い申し上げる次第です。



日本教育会館一ツ橋ホール



満席となった会場



映画賞贈呈式の様子

山路ふみ子専門看護教育研究

助成基金運營委員

田村やよひ

(山路ふみ子文化財団評議員)



昨年「山路ふみ子文化財団の歩み」には、公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金の運営委員長である小松浩子先生により、特別寄稿として、今年基金設立30年を迎えることを契機に、基金の足跡や助成金受給者の動向などを取りまとめた「30周年記念誌」の編纂についてご紹介がありました。ここではその進捗について記すことといたします。

記念誌編纂委員には基金の運営委員である者が担当し、委員長には基金設立時から運営委員である南裕子先生に就いていただくことになりました。南先生

は山路ふみ子先生の自伝「命ある限り贈りたい」の中にも登場する方で、このお二方の出会いがなければ、基金は存在しなかったかもしれないというキーパーソンです。その南先生が編纂委員長の任をご快諾くださいましたので、大変心強く思っております。また、約四〇〇名にのぼる助成金受給者の名簿も、信託事務を担当している三井住友信託銀行公益信託グループのご協力のもと、完成をみております。記念誌の構成につきましても、おおよその内容を決定しております。その後、具体的な作業に取り掛かうとした矢先に、新型コロナウイルスの感染が拡大し、編纂委員会の開催もままならず、残念ながら編纂活動が停滞している状態です。

小松浩子先生も私も、30年前の第一回助成金受給者です。山路先生が、将来の看護教育学の発展と看護の向上を願って、私財を投じて設立してくださったこの基金により、博士論文となる研究を進めることができたことは言うまでもありませんが、それ以上に基金設定趣意書に明示された「看護の専門教育、看護研究に携わる指導者の育成」というお言葉を心に強く刻んで、自身を奮い立たせ、仕事に励んできた30年だったと

言えます。このことは私に限らず、助成金受給者の多くが同様に感じているに違いなく、そうした受給者のありようを30周年記念誌により確実に後世に伝えることが、山路ふみ子先生への深い感謝のしるしになるに違いないと考えております。



助成基金設定趣意書

新型コロナウイルスの状況は簡単には終息し
そうにはありませんが、IT技術なども
活用しながら、課題を解決して一日でも
早く皆様に記念誌をご披露できますよ
う努めてまいります。今後ともご支援
ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げ
ます。

●お問い合わせ先

三井住友信託銀行・個人資産受託業務部・
公益信託グループ
【公益信託 山路ふみ子専門看護教育研究
助成基金申請口】

7105-8574

東京都港区芝3-33-1

電話:03-5232-8910

FAX: 03-5232-8919



令和元年度贈呈式より

山路ふみ子出演映画特別上映会 in 国立映画アーカイブ

令和二年二月八日(土)

山路ふみ子出演映画特別上映会の
「司会」を担当させていただきます



高倉 瑠美

山路ふみ子先生が戦前・戦中の銀幕スターだったということは、以前から存じ上げていました。しかし、当時の出演映画を観る機会との出会いがなく、山路先生の自伝や写真で漠然と想像することしか出来ませんでした。

私と山路ふみ子文化財団とのお付き合いは、大学在学時に参加させていただいた「学生映画コンクール」に、他大学の学生と共に運営委員として参画させていただいたのが始まりで、その後「名画をもつて地域振興支援事業としての上映会」にも運営スタッフとしてお手伝いさせていただきました。

そのようなご縁から、この度の「山路

ふみ子出演映画特別上映会」の『司会』のお話をいただき、お引き受けしたものの、由緒ある国立映画アーカイブで、往年の大女優の出演作品の上映会だけに当日まで緊張の連続でした。

数回の打ち合わせ後、迎えた上映会当日は、ちょうど、新型コロナウイルスが話題となり始めた時で、受付を担当された財団の役員による「手拭き消毒」の呼び掛けで、ご来場者お一人おひとりにご協力をいただきました。

また、上映する映画もかなり古い作品のため、鮮明度も悪く、上映二作品のうち一作品は「無声映画」であることから、応募申込者数と当日の実際のご来場者数は異なるのではと、多少の不安もよぎりました。しかし、開場時間となると、毎年財団が主催している「映画賞贈呈式」同様に、幅広い年齢層の方々がご来場してくださり、会場の小ホールは、ほどなく満席の状況となりました。

私も、「母の微笑」「愛怨峡」を鑑賞させていただきます、後方の席では、劇中歌

を一緒に口ずさむご来場者もいらつしました。そして、上映会終了後のご来場者に対する私のつたない御礼挨拶に、「来て良かったです。何とも言えない懐かしさが込み上げました」と、多くのお言葉を頂戴しました。

『司会』という、こんな素晴らしい場を提供くださった山路ふみ子文化財団、そして見守ってくださった山路先生に感謝しております。



はじめに・理事長挨拶



上映映画「愛怨峡」より



上映映画「母の微笑み」より

平成から令和に移って

(敬称略)

1989年(平成元年)

- ・11月28日 第13回「山路ふみ子賞贈呈式」
受賞記念上映映画:北京的西瓜/大林 宣彦
- ・「山路ふみ子奨学基金」設立

1990年(平成2年)

- ・11月27日 第14回「山路ふみ子賞贈呈式」
受賞記念上映映画:桜の園/中原 俊
- ・看護学を専攻する大学院生対象の「山路ふみ子専門看護教育研究助成基金」設立、公益信託として三井住友信託銀行に寄託

1991年(平成3年)

- ・4月24日 展示と朗読奉仕活動の拠点として、東京都豊島区目白に「山路ふみ子記念・読売ボランティアセンター」を開設
- ・11月25日 第15回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:八月の狂詩曲/黒澤 明
この第15回から従来の「山路ふみ子賞贈呈式」から「山路ふみ子映画賞贈呈式」に改称しました

1992年(平成4年)

- ・11月27日 第16回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:遠き落日/神山 征二郎

1993年(平成5年)

- ・3月30日 「振興キネマー戦前娯楽映画の王国」初版発行
(キネマ旬報社刊)
発行:財団法人山路ふみ子文化財団
編者:佐藤 忠男 登川 直樹 丸尾 定
- ・11月30日 第17回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:学校/山田 洋次

1994年(平成6年)

- ・5月13日 「命あるかぎり贈りたい」初版刊行(草思社刊)
- ・11月25日 第18回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:居酒屋ゆうれい/渡邊 孝好

1995年(平成7年)

- ・11月24日 第19回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:午後の遺言状/新藤 兼人

1996年(平成8年)

- ・11月30日 第20回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:絵の中のぼくの村/東 陽一
- ・12月21日 財団創立20周年記念パーティー
於:東京都千代田区・帝国ホテル

1997年(平成9年)

- ・11月28日 第21回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:うなぎ/今村 昌平

1998年(平成10年)

- ・11月27日 第22回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:愛を乞うひと/平山 秀幸

1999年(平成11年)

- ・11月26日 第23回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:鉄道員(ぽっぽや)/降旗 康男

2000年(平成12年)

- ・11月24日 第24回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:雨あがる/小泉 堯史

2001年(平成13年)

- ・11月30日 第25回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:千と千尋の神隠し/宮崎 駿

2002年(平成14年)

- ・11月29日 第26回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:命/篠原 哲雄

2003年(平成15年)

- ・11月28日 第27回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:たそがれ清兵衛/山田 洋次

2004年(平成16年)

- ・6月15日 財団事務局を「千代田区三番町五番地」より「港区元赤坂1-1-7-1201」に移転
- ・11月26日 第28回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:父と暮せば/黒木 和雄
- ・12月6日 創立者・山路ふみ子先生92歳で永眠
- ・12月19日 「故 山路ふみ子先生お別れの会」
於:東京都新宿区・学習院女子大学二号館やわらぎホール

2005年(平成17年)

- ・11月25日 第29回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:メゾン・ド・ヒミコ/犬堂 一心

2006年(平成18年)

- ・11月24日 第30回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:雪に願うこと/根岸 吉太郎

2007年(平成19年)

- ・11月30日 第31回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:それでもボクはやってない/周防 正行

2008年(平成20年)

- ・10月4日 「名画特別上映会」ブレ開催
於:東京都豊島区・学習院創立百周年記念会館 正堂



- ・11月28日 第32回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:ぐるりのこと。/橋口 亮輔

2009年（平成21年）

- ・DVD「山路ふみ子物語」製作
- ・10月23日 第1回「名画特別上映会in静岡県熱海市」
～25日 於:静岡県熱海市・起雲閣ホール
- ・11月27日 第33回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:ディア・ドクター/西川 美和

2010年（平成22年）

- ・10月22日 第1回「学生映画コンクール」
於:東京都豊島区・新文芸坐
- ・10月30日 第2回「名画特別上映会in静岡県伊豆稲取町」
於:静岡県伊豆稲取町・東伊豆町立稲取小学校体育館
- ・11月26日 第34回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:悪人/李 相日
- ・12月5日 「山路ふみ子先生7回忌納骨法要」
於:東京都港区・青山霊園
お斎:東京都港区・青山浅田

2011年（平成23年）

- ・6月15日 「命あるかぎり贈りたい」第2版を発行
- ・6月24日 青山霊園 山路(大久保)家墓所に「墓誌」建立
- ・7月2日 山路ふみ子生誕100年記念上映会
於:東京都中央区・東京国立近代美術館フィルムセンター
- ・10月9、10日 第3回「名画特別上映会in新潟県上越市」
於:新潟県上越市・高田世界館
於:新潟県上越市・上越市立リージョンプラザ大ホール
- ・11月25日 第35回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:一枚のハガキ/新藤 兼人
- ・12月8日 公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律等の規定に基づき、12月8日「公益財団法人山路ふみ子文化財団」として認定され、主務官庁も文部科学省から内閣府に変更となりました
- ・開催計画を進めていた「学生映画コンクール」は東日本大震災のため中止

2012年（平成24年）

- ・3月12日 「山路ふみ子生誕100年感謝の集い」
於:東京都港区・東京プリンスホテル
- ・11月3日 第4回「名画特別上映会in信州なかの」
於:長野県中野市・中野市立市民会館大ホール
- ・11月30日 第36回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:終の信託/周防 正行

2013年（平成25年）

- ・3月16日 第2回「学生映画コンクール」
於:東京千代田区・アキバシアター

- ・11月29日 第37回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:おしん/富樫 森

2014年（平成26年）

- ・3月16日 第3回「学生映画コンクール」
於:東京都豊島区・大正大学 5号館
- ・6月1日 第5回「名画特別上映会in秋田県にかほ市」
於:秋田県にかほ市・仁賀保勤労青少年ホームホール
- ・11月28日 第38回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:蜩ノ記/小泉 堯史

2015年（平成27年）

- ・2月27日 第4回「学生映画コンクール」
於:東京都豊島区・大正大学7号館
- ・8月29日 第6回「名画特別上映会in岐阜・東白川村」
於:岐阜県加茂郡・東白川村役場 はなのき会館
- ・11月27日 第39回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:海街diary/是枝 裕和

2016年（平成28年）

- ・2月27日 第5回「学生映画コンクール」
於:東京都新宿区・東京富士大学 二上記念講堂
- ・9月26日 「山路ふみ子文化財団創立40周年記念史編纂委員会」を発足
- ・11月25日 第40回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:怒り/李 相日
- ・12月4日 「山路ふみ子先生13回忌法要」（東京都港区・青山霊園）
「お斎の会」（東京都港区・都市センターホテル）
「命あるかぎり贈りたい」改訂・増補版刊行

2017年（平成29年）

- ・1月7日 第7回「名画特別上映会in佐賀県武雄市」
於:佐賀県武雄市・武雄市文化会館
- ・10月9日 第8回「名画特別上映会in北海道深川市」
於:北海道深川市・文化交流ホール み・らい
- ・11月3日 創立40周年記念史刊行
- ・11月24日 第41回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:幼な子われらに生まれ/三島 有紀子

2018年（平成30年）

- ・11月30日 第42回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:寝ても覚めても/濱口 竜介

2019年（令和元年）

- ・6月12日 第9回「名画特別上映会in練馬区」
於:東京都練馬区・光が丘キリスト教会
- ・11月29日 第43回「山路ふみ子映画賞贈呈式」
受賞記念上映映画:蜜蜂と遠雷/石川 慶

2020年（令和2年）

- ・2月8日 山路ふみ子出演映画特別上映会
於:東京都中央区・国立映画アーカイブ



公益財団法人 山路ふみ子文化財団

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 赤坂モートサイド1201

E-mail / yamajifumiko-cf@blue.ocn.ne.jp

TEL / 03-3479-1087 FAX / 03-3479-1086

<http://www.yamaji-fumiko.org/> 山路ふみ子文化財団 検索

注) 当財団の許可なく、いかなる複製も禁じます。 令和2年11月